

公立大学の設置検討に関わる経過について

- ・平成22年6月、東海大学旭川キャンパスの学生募集停止が発表される（平成26年3月末に旭川キャンパスの最後の学生を札幌キャンパスに移転）。
- ・平成23年、旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会が結成され、平成24年に約4万3千名の署名を集める。

日付	事項	内容等
平成23年11月24日	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書の提出	(要望要旨) 豊かな自然を有する旭川地域の独自性を強く打ち出し、デザイン、木工芸、建築関連、金属工芸、農業、食品関連産業など、広く「ものづくり」を建学の精神に据えた公立大学開設に向けて具体的に検討いただけますようお願い申し上げます。
平成24年11月29日	旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望書の提出	(要望要旨) 平成25年度の旭川市予算に公立「ものづくり大学」についての調査費を計上し、議論の場をつくって下さい。
平成25年2月20日	旭川大学から要望書の提出	(要望要旨) 旭川市におかれましては、公立大学設置を検討するに当たって、本学園が有するこれまでの大学経営と実績を評価された上、道北の中核市として次世代のための新たな大学の在り方を本学園と共に再創造するための協議をさせていただくことを要望するものです。
平成25年度	高等教育機関設置検討調査費を予算計上 (当初予算50万円 支出額19.8万円)	「旭川市における高等教育機関に関する調査報告書」の作成 ～大学設置の効果（社会的効果、経済的効果）等を調査し、大学新設の8つの検討課題等を整理した。
平成26年度	高等教育機関設置検討調査費を予算計上 (当初予算100.4万円 支出額33.9万円)	旭川市の高等教育を考える会議の開催、「旭川市の高等教育を考える会議報告書」の作成 ～平成25年度の調査報告書を踏まえ、大学を新設した場合の課題などについて有識者からの意見を伺った。
平成27年度	高等教育機関設置検討調査費を予算計上 (当初予算600万円 支出額44.6万円)	市が考える学部、学科について、外部の専門機関へ運営に係る費用や学生、教員の確保などについて調査委託する予定だったが、市の方向性を決めるまでには至らなかったため不執行となった。
平成28年2月2日	旭川大学から要望書の提出	(要望要旨) 旭川市長におかれましては、かかる本学園の置かれた状況、使命と役割にご理解と共感をいただき、旭川大学の公立大学法人化を推進くださいますようお願いするものです。
平成28年度	高等教育機関設置検討調査費を予算計上 (当初予算 90.5万円)	旭川大学を活用した公立大学設置の可能性などについて、有識者による会議を開催し意見を伺うことを予定

法人分離

大学，短大を公立化の対象とし，高等学校，専門学校，幼稚園を別法人で運営する。

学部・学科等の見直し

定員充足率が低い学部，学科や収支不足となっている学部，学科を見直し。

旭川大学に提示している
市側の条件

予定されている耐震化の実施

私立大学の耐震化は国の補助対象となっていることから，現時点で予定している耐震化の工事を実施する。

ものづくり系学部等の設置

地域特性を踏まえ，地域の活性化につながるものづくり系学部等の設置。